

輸送動向について(2月分)

平成20年3月

1. 輸送概況

月は、中旬に東北線宇都宮駅～雀宮駅間で乗用車衝撃事故があったほか、下旬には北日本地区を中心とした強風・大雪による輸送障害が発生し、高速貨151本、専貨8本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響はあったものの、気温の低下により石油の出荷が好調であったほか、閏年により営業日が多かったこともあり、全体としては堅調に推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品のほか、農産品・青果物、積合せ貨物などすべての品目が前年を上回り、全体では前年比105.7%となった。農産品・青果物は民間流通米及び北海道地区の野菜類の出荷が強勢であった。また、積合せ貨物は一部事業者の利用拡大により増送となった。

車扱貨物は、石油及び石灰石などが前年を上回り、全体では前年比105.9%となった。石油は気温の低下による灯油の好調な出荷、石灰石については前年、鉄鋼メーカーの高炉改修工事に伴う出荷調整があったことにより、大きく増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,922	1,819	105.7%	21,248	21,007	101.1%
車 扱	1,248	1,178	105.9%	11,664	12,175	95.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	216	202	14	106.9%
	化学工業品	182	175	7	104.0%
	化学薬品	145	139	6	104.3%
	食料工業品	254	243	11	104.5%
	紙・パルプ	309	303	6	102.0%
	他工業品	153	136	17	112.5%
	積合せ貨物	199	187	12	106.4%
	自動車部品	82	65	17	126.2%
	家電・情報機器	32	31	1	103.2%
	エコ関連物資	34	30	4	113.3%
	その他	316	308	8	102.6%
	コンテナ計	1,922	1,819	103	105.7%
車 扱	石 油	840	788	52	106.5%
	セメント	73	71	2	102.6%
	石灰石	71	42	29	167.4%
	車 両	137	137	0	100.0%
	その他	127	139	-12	91.2%
		車 扱 計	1,248	1,178	70

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)